

事業コード	5-1-①-2
担当部署	環境課
作成者	小野 史明
内線	435

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	自主防災組織の組織率		実績	63	84.00%	84	82			85
			達成率	74%	1%	99%	96%	0%	0%	
	説明・出典	組織化地域世帯数/老人福祉施設等を除く世帯数*100								

事業コード	5-1-①-3
担当部署	環境課
作成者	山科 浩一
内線	435

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	参加者数		実績	0	0.00%	199	398			500
			達成率	0%	0%	40%	80%	0%	0%	
	説明・出典	参加者実数 398名								

事務事業名	河川維持管理事業		
第5次総合計画体系	柱	5	生活環境
	施策	1	防災・消防体制の充実
	小施策	②	インフラにおける防災対策の充実
事業区分	施設維持管理（補修）事業		
予算区分	08-03-02-0001河川維持費		
事業継続年数	(事業開始年度)		10年以上
根拠法令	河川法		

事業コード	5-1-②-1
担当部署	都市整備課
作成者	松田 祥吾
内線	531

事業の対象	準用河川及び「きれいな川ですみよいふるさと」運動の対象河川
事業の目的 どのような状態にしたいのか	河川をきれいにして住みよい生活環境を担っている。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	準用河川の維持管理・修繕工事の実施、河川清掃運動への市民参加やボランティア団体によるアダプト事業への参加。
事業の結果	ボランティアによる河川清掃や河川愛護活動を推進するにより、市民による河川美化の意識向上が図られた。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		988	1,817	1,200	1,314	1,570	0	升形川草刈業務委託料 514 河川清掃に伴う機械借上料347
内訳	特定財源	0	432	422	429	462		特定財源の名称（金額）
	一般財源	988	1,385	778	885	1,108		山形県市町村総合交付金 429

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.37	0.52	0.52	0.33	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	河川清掃参加人数（人）		実績	0	4388	2956	2890	2700		5000
			達成率	0%	88%	59%	58%	54%	0%	
	説明									

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	市民アンケート「川がきれいである」（満足度）		実績	2.75	3.15	3.15	-	-		4
			達成率	0.7	0.8	0.8	-	-	0	
	説明・出典									

事業コード	5-1-③-4
担当部署	環境課
作成者	渡辺 光
内線	436

事業の対象	新庄市消防団
事業の目的 どのような状態にしたいのか	火災発生時等の際に、迅速な活動で市民の安全・安心が守れるよう、消防資機材の配備環境を整える
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	積載車更新計画及び小型動力ポンプ更新計画に基づき、適切な更新を行う (周知方法 消防団へ周知)
事業の結果	令和5年度においては、小型動力ポンプ5台と併せて、軽積載車4台（令和4年度分2台、令和5年度分2台）を更新する事ができ、消防資機材の配備環境を整えることができた。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		21,690	24,755	9,001	36,442	25,202	0	修繕料 1,109千円 積載車更新 25,548千円 手数料 590千円 小型ポンプ 9,185千円
内訳	特定財源	0	0	0	0	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源	21,690	24,755	9,001	36,442	25,202		

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.18	0.18	0.31	0.43	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	消防団積載車及び小型動力ポンプの更新台数		実績	7	14	21	30			42
			達成率	0	0	1	1	0	0	
	説明・出典									

1. 事務事業の概要

事務事業名	消防施設整備補助事業		
第5次総合計画体系	柱	5	生活環境
	施策	1	防災・消防体制の充実
	小施策	③	消防体制の充実
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	一般会計 9款1項3目 消防施設整備事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 S50) 10年以上		
根拠法令	新庄市消防施設整備事業補助金交付規程		

事業コード	5-1-③-5
担当部署	環境課
作成者	渡辺 光
内線	436

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	新庄市消防団
事業の目的 どのような状態にしたいのか	団員が火災発生時等の際に、安全かつ確実に活動を行い、さらに迅速な活動で市民の安全・安心を守られている状態。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	消防用資機材を更新・整備する消防団各班に対し、補助金を交付し、消防施設の整備事業の振興を図る。 補助対象 消防ホースや防火衣、動力ポンプなど 補助率 1/3～1/2 （上限あり） （周知方法 消防団本部及び各班へ周知）
事業の結果	火災等の災害発生時に、消防団が安全かつ確実に消火活動を行えるよう、資機材の新規購入や更新に対して補助金を交付し、消防設備の充実を図った。

3. 事業費 （単位：千円）

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		1,389	1,389	1,393	1,327	6,487	0	31団体 111個 消防資機材1,300千円（30団体）110個 器具置場修繕27千円（1団体）1個
内訳	特定財源	0	0	0	0	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源	1,389	1,389	1,393	1,327	6,487		

4. 人員 （単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.18	0.18	0.31	0.43	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	消防用資機材を更新・整備した班の数	実績	30	31	34	31			-
		達成率	-	-	-	-	-	-	
	説明								
成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	更新・整備した消防用資機材の数	実績	57	115	121	111			-
		達成率	-	-	-	-	-	-	
	説明・出典								

1. 事務事業の概要

事務事業名	消防用施設維持管理事業		
第5次総合計画体系	柱	5	生活環境
	施策	1	防災・消防体制の充実
	小施策	③	消防体制の充実
事業区分	施設維持管理（補修）事業		
予算区分	一般会計　9款1項3目　消防施設整備事業費		
事業継続年数	(事業開始年度) 10年以上		
根拠法令			

事業コード	5-1-③-6
担当部署	環境課
作成者	渡辺　光
内線	436

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	新庄市民
事業の目的 どのような状態にしたいのか	火災等災害発生時に迅速な対応ができる環境を整え、市民の安全・安心を守る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	・ 防火貯水槽の適切な管理等。 ・ 消防団が使用する積載車の車検等の実施。 (周知方法 なし)
事業の結果	火災発生時に、消防団が安全かつ確実に消火活動に従事できるよう、遺漏なく積載車の修繕等を行った。また、自然水利が乏しい地域に消火用水が確保されるよう適切に管理した。

3. 事業費 （単位：千円）

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		1,938	5,060	1,605	1,109	2,658	0	車検整備料1,109千円
内訳	特定財源	0	0	0	0	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源	1,938	5,060	1,605	1,109	2,658		

4. 人員 （単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.11	0.11	0.32	0.43	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

5. 評価指標

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	施設整備数		実績	0	3	0	4			-
			達成率	-	-	-	-	-	-	
	説明	防火貯水槽、車両台数の合計								
成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	消防資機材の充足率		実績	34.8	40.3	44	51			62
			達成率	1	1	1	1	0	0	
	説明・出典	小型動力ポンプ配備、積載車配備計画の目標値を設定								

事業コード	5-2-①-1
担当部署	環境課生活安全係
作成者	井上 颯
内線	439

事業の対象	市民
事業の目的 どのような状態にしたいのか	道路反射鏡等を整備して、交通の安全対策を推進し、安全で安心な生活環境の維持向上。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	交通事故等が発生する危険がある道路に道路反射鏡の設置を行い、劣化が進んだ道路反射鏡については修繕等を行う。 (周知方法) 制度発足時町内会等に連絡済
事業の結果	適切な道路反射鏡に修繕することにより、安全・安心な道路環境を整備することができた。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		484	646	779	274	789	0	道路反射鏡修繕 274千円
内訳	特定財源	0	0	0	0	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源	484	646	779	274	789		

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.1	0.1	0.1	0.19	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	道路反射鏡設置及び修繕数		実績	4	4	8	7			15
			達成率	27%	27%	53%	47%	0%	0%	
	説明									

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	交通安全施設における危険箇所数		実績	28	41	15	16			15
			達成率	53.6%	36.6%	100.0%	93.8%	0	0	
	説明・出典		通学路危険箇所点検数							

1. 事務事業の概要

事務事業名	交通安全対策総合推進事業		
第5次総合計画体系	柱	5	生活環境
	施策	2	交通安全・防犯活動の推進
	小施策	①	交通安全活動の推進
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	02-01-10-0001交通安全対策事業費		
事業継続年数	(事業開始年度) 10年以上		
根拠法令	新庄市交通安全条例		

事業コード	5-2-①-2
担当部署	環境課生活安全係
作成者	井上 颯
内線	439

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	市民
事業の目的 どのような状態にしたいのか	交通安全対策を総合的に実施し、交通安全意識をより高めることで、交通事故の撲滅を目指す。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	交通安全指導専門員及び交通指導員をはじめとする各種活動 ・交通安全教室の実施 ・通学時の自転車マナー指導 ・交通安全広報活動 ・交通安全街頭啓発活動 ・自主規制看板等の設置 (周知方法) 広報誌及び幼稚園・保育所等への広報
事業の結果	交通指導員・交通安全指導専門員が警察及び関係機関と連携し、住民（特に高齢者・子供）の交通安全意識の向上を図ることができた。

3. 事業費（単位：千円）

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		10,499	9,269	9,642	9,751	14,779	0	報酬 交通指導員報酬3,056千円 交通安全指導専門員報酬 5,320千円
内訳	特定財源	620	620	620	620	620		特定財源の名称（金額）
	一般財源	9,879	8,649	9,022	9,131	14,159		

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.37	0.37	0.37	0.2	
会計年度職員	-	2.4	2.4	2.4	2.4	

5. 評価指標

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	街頭啓発活動の実施回数		実績	14	22	148	169			60
			達成率	23%	37%	247%	282%	0%	0%	
	説明	環境課調べ								
成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	市内の交通事故件数		実績	90	84	107	80	0	0	66
			達成率	73.3%	78.6%	61.7%	82.5%	#DIV/O!	#DIV/O!	
	説明・出典	山形県警察本部調べ								

事務事業名	運転免許証自主返納支援事業		
第5次総合計画体系	柱	5	生活環境
	施策	2	交通安全・防犯活動の推進
	小施策	①	交通安全活動の推進
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	02-01-10-0001 交通安全対策事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 R2)		3年以上
根拠法令			

事業コード	5-2-①-3
担当部署	環境課生活安全係
作成者	井上 颯
内線	439

事業の対象	市内在住の高齢者ドライバー
事業の目的 どのような状態にしたいのか	免許返納を促し、高齢者ドライバーの交通事故を未然に防ぐ
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	返納者に対して市内で利用できる交通券を交付し、運転が不安な高齢者ドライバーが免許を返納しやすい環境にする。 (支援内容) 運転免許証自主返納支援事業を実施し、70歳以上の高齢者が運転免許証をしやすい環境を整備している。 (周知方法) 市HP・県警HPで制度の広報の他、警察署窓口で返納申請の際に説明を依頼している。
事業の結果	運転免許を返納しやすい環境を整えることで返納者数は向上している。高齢者の事故は微増しているが今後も事業を継続し事故防止に努める。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		1,700	1,534	1,402	1,455	1,612	0	報償費（高齢者免許返納支援事業回数券）1,410千円
内訳	特定財源	0	0	0	0	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源	1,700	1,534	1,402	1,455	1,612		

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.36	0.36	0.36	0.18	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	高齢者免許自主返納事業利用者数		実績	135	116	101	136			144
			達成率	94%	81%	70%	94%	0%	0%	
	説明	環境課調べ								

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	高齢者ドライバーの事故件数		実績	31	17	16	26	0	0	19
			達成率	61.3%	111.8%	118.8%	73.1%	#DIV/O!	#DIV/O!	
	説明・出典	山形県警察本部調べ								

事業コード	5-2-②-2
担当部署	環境課生活安全係
作成者	井上 颯
内線	439

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	LED灯総数（灯）		実績	3088	3135	3201	3215			3802
			達成率	81.2%	82.5%	84.2%	84.6%	0	0	
	説明・出典	LED灯総数／防犯灯総数（3,802灯）								

事業コード	5-2-②-3
担当部署	環境課生活安全係
作成者	井上 颯
内線	439

事業の対象	市民
事業の目的 どのような状態にしたいのか	犯罪や事件が未然に防止された、安全で安心な住みよい街になっている状態。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	事業者と業務委託を締結し、ネットワークカメラ等及び通信ネットワーク網を整備し、犯罪事件の未然防止や、事件が発生した場合の早期解決を図る。
事業の結果	防犯カメラを新規12台設置し、市内の防犯体制を推進することができた。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		895	2,716	886	4,629	1,428	0	工事請負費 防犯カメラ新設工事費（3,751千円）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源	895	2,716	886	4,629	1,428		

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.15	0.15	0.15	0.19	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	防犯カメラ設置台数		実績	7	8	10	22			24
			達成率	29.2%	33.3%	41.7%	92%	0%	0%	
	説明	設置台数の累積								

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	市内刑法犯認知件数		実績	126	143	128	106			92
			達成率	73.0%	64.3%	139.1%	115.2%	0	0	
	説明・出典	山形県警察本部調べ								

事業コード	5-2-他-1
担当部署	環境課生活安全係
作成者	井上 颯
内線	439

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	交通災害共済見舞金支払い件数		実績	25	25	21	19			-
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	説明・出典	支払実績								

事業コード	5-3-②-1
担当部署	環境課
作成者	遠藤和也
内線	433

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	公害発生件数（苦情件数）		実績	28	20	18	17			20
			達成率	71%	100%	90%	85%	0%	0%	
	説明・出典									

事業コード	5-4-②-3
担当部署	環境課
作成者	遠藤 和也
内線	433

事業の対象	団体（自治会、子供会、老人クラブ、PTA等）、資源回収業者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	集団資源回収活動を通して、ごみの減量化、再利用・再資源化の必要性を認識し、廃棄されるものを最小限に抑えることで、ごみ減量化と地球温暖化抑止へ貢献する。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	リサイクルにここに運動 ・資源回収に取り組む町内会等と資源回収事業者の申請の受理を事前に行う。 ・回収対象品目は、古紙、金属、ビン、その他とする。 ・回収量と実施回数の実績に応じて奨励金を交付する。 (ホームページ)
事業の結果	資源回収の実施、補助金の交付を遺漏なく行うことができ、地域と連携し取り組むことにより、環境教育も含めごみの資源化・減量化が図られた。

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		3,087	3,168	2,295	1,964	3,000	0	ウツワグルにことごと運動奨励事業補助金 1,964 内訳：団体奨励金
内訳	特定財源	0	0	0	0	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源	3,087	3,168	2,295	1,964	3,000		

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.24	0.28	0.28	0.28	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

活動指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	登録団体数（団体）		実績	144	136	126	121			150
			達成率	96%	91%	84%	81%	0%	0%	
	説明									

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	回収（t）		実績	598	596	428	353			615
			達成率	97%	97%	70%	57%	0%	0%	
	説明・出典	リサイクルにここにニュース								

事業コード	5-4-③-1
担当部署	環境課
作成者	星川 裕生
内線	433

成果指標	指標名称		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	ごみステーションの設置数 (基)		実績	818	818	818	839			820
			達成率	100%	100%	100%	102%	0%	0%	
	説明・出典									